

【問】市の老朽化した施設、特に庁舎・図書館・福祉総合センターは、現状では市民サービスの低下と安全性が懸念される。財政難の状況下で、どう対応するのか聞きたい。

【答】庁舎の建て替えについては、できるだけ早期に基金を創設できるように検討

不可避な老朽化対策 財源の絞り出しを

西田 武史 議員

【問】市税収入が年々減少する一方、社会保障関係費が増加し続け、その中でも生活保護費の増加が著しい。受給者が増え続け、担当するケースワーカーの数が追いついていない状況にある。今のうちに手を打たなければ、ますます市の負担が増えるが、どう対処するか聞きたい。

【答】ケースワーカーについては、任期付職員や再任

するとともに、環境基金のような既存の基金についても活用方法を検討していきたい。いずれの施設についても、市の財政状況を十分に勘案するとともに、国の補助金活用を含め、あらゆる可能性を検討し、財源確保に努めていきたい。



建て替えには多額の費用が

【問】近年は決算収支が赤字であるが、市税収入が減少し続けるなど、今後も厳しい財政状況が続く。このようなか、現在の財政推計と行財政新改革プランの

市長主導のもと さらなる行財政改革を

その他の質問
○中学校給食センターについて

井上孝三郎 議員

【問】近年は決算収支が赤字であるが、市税収入が減少し続けるなど、今後も厳しい財政状況が続く。このようなか、現在の財政推計と行財政新改革プランの

【答】平成 25 年 9 月に時点修正した財政推計では、25 年度から収支不足となり、収支の均衡を図るため、基金を取り崩すことになる。その結果、46 億円あった財政調整基金と減債基金の残高は、30 年度には 6 億円程度となる見込みである。



【問】市長は選挙公約のなかで、市長はじめ特別職の退職金を廃止すると主張している。廃止の目的や時期について聞きたい。

【答】今後さまざまな行政改革を進めるなか、自らが身を切ることも必要と考えた。できる限り早期に条例改正したい。

【問】市長選挙における「8つのお約束」のうち、市長が描くまちづくり実現のため、最優先に取り組み事業とその財源について聞きたい。

多岐にわたる選挙公約 財源工面の方法は

稲田 悦治 議員

【問】市長はあれもこれも実施すると市民に約束している一方で、「小さな自治体」をめざすべきとも言っている。

【答】市長はあれもこれも実施すると市民に約束している一方で、「小さな自治体」をめざすべきとも言っている。小さな自治体とは民間で実施できるものは委託するなど、行政をスリムにすることだと考えるが、8つのお約束が実現すれば、職員も業務も減らすことができ

【問】8つのお約束については、国の動向なども見極めながら、短期・中期・長期に実施できるものを精査している最中である。

【答】真の黒字化は、子育て世帯の増加などによる自主財源の確保と行財政改革の着実な実行により、実現すると考える。事業を精査したうえで、できるだけ早期に示したい。



子育て支援のための財源は

8人の議員による 一般質問 その1

【問】財政健全化が喫緊の課題であるが、地方債の償還や、公共施設と公共インフラの老朽化対策に巨額の予算が必要となる。

【答】自主財源の増加が見込めない以上、行財政構造の大改革で行政経費を削減すべ

行政コストの削減が 財政健全化のカギ

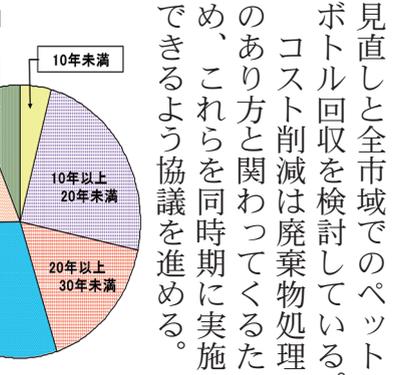
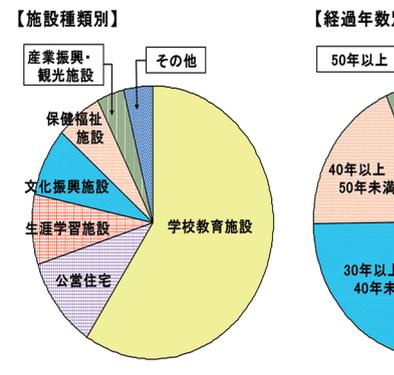
京西 且哲 議員

【問】ごみ袋の有料化により、ごみの排出量の削減は実現したが、ごみの処理にかかる費用は増えている。

【答】市民だけに負担を求めず、行政の努力によりコストを削減すべきと考えるが、その取り組みと今後のスケジ

【問】平成 26 年度は、施設の現状を把握するための点検調査や、評価に必要な情報分析を行うほか、統廃合の可能性について引き続き協議する。また、市民アンケートも実施する。

【答】27 年度はこれらを踏まえ、施設評価や市民から意見聴取をしたうえで基本計画を策定し、28 年度には施設ごとに実施計画を順次策定する。



【問】27 年度をめどに、プラスチック類の分別収集の見直しと全市域でのペットボトル回収を検討している。コスト削減は廃棄物処理のあり方と関わってくるため、これらを同時期に実施できるように協議を進める。